

第96回埼玉大学脳科学セミナー

主催：埼玉大学脳末梢科学研究センター

海馬体—海馬周辺皮質領域間結合関係の形態学的研究 Morphological studies of neural connectivity between the hippocampal formation and parahippocampal cortices.

本多 祥子 先生
(Yoshiko Honda)

東京女子医科大学医学部 解剖学教室 准教授

日時：2018年 12月 14日（金） 16:20～

場所：理学部講義実験棟 4番教室

歯状回、アンモン角、海馬台から成る海馬体と、海馬周辺皮質領域（前海馬台、嗅内野などを含む）は、共に記憶形成回路の基本構成要素をなす重要な領域である。演者はこれまで、ラットにおける海馬体—海馬周辺皮質領域間線維連絡を細胞集団レベルから単一ニューロンレベルにわたり形態学的手法で解析してきた。その結果、海馬体の主要な情報入力源である嗅内野浅層に、嗅脳溝にほぼ平行な帯状ユニット構造が存在することを見出した。近年はさらに齧歯目から霊長目まで共通する基盤的線維連絡および動物種特異的な線維連絡の解明を目指し、ウサギやマーモセットでも解析を行っている。本セミナーでは記憶形成回路の全体像を示しながら、これらの研究成果を紹介する。

脳末梢科学研究センターは定期的に脳科学セミナーを開催しています。誰でも自由に参加出来るセミナーですので、奮ってご参加下さい。詳しくはHPをご覧ください。 <http://subsi.saitama-u.ac.jp/>

問合せ：脳末梢科学研究センター 佐藤正晃 内線5136